

「いじめはなぜ起きるのか」

1 年 A 組 泉 心葉

みなさんはいじめのことをどのように思いますか？私はどんな理由があっても絶対に駄目だと思います。私も実際にいじめられた経験があり、いじめられた話を何度も聞いたことがあります。加害者からするとちょっとしたからかいの言葉や、遊びでも被害者側が「つらい」と思ったらその時点でいじめは成立します。そして心には大きな傷が一生残ったままになる可能性があるからです。なので、いじめは絶対に駄目だと思いました。しかし、「いじめのことをどのように思いますか？」と聞かれて「いいこと」と答える人は少ないと思います。ではなぜ人はいじめが駄目だとわかっているのにいじめをするのでしょうか？7月にあったいじめ撲滅集会の話もふまえて、考えてみました。

まず、いじめが起きる原因は、加害者は被害者をいじめると自分が優位に立っていると感じることで欲求が満たされるのだそうです。被害者の反応を見て、面白いと感じることもあるといいます。私には、いじめをして面白いと思う気持ちがわかりませんが、悪いのは加害者だけではないようです。見て見ぬふりをする人「傍観者」も加害者となってしまいます。みなさんは、見て見ぬふりをするのは、仕方がないことだと思いますか？「自分に関係ない」「巻き込まれたくない」とってしまうのかもしれないけれど、先生などに助けを求めたり、被害者の相談に乗ってあげることで、助ける側になり、いじめは解決できたりするのではないかと私は思いました。

それでは、いじめられる人に原因はないのでしょうか。私はいじめられる側にも少なからず原因があると思います。なぜなら、相手の誘いや意見を否定できなかったり、逆に、何に対しても肯定してしまうことが、いじめにつながるのだと思います。たとえ、いじめられる側に原因があったとしても個人や集団でいじめをしていい理由にはならないですが、いじめに発展する前に、お互いに思ったことを言い合って理解しようとする姿勢が必要なのだと思います。

このように、いじめに発展する前に行動することで、二次的な被害を防ぐことができます。いじめを受けた人が学校に来られなくなってしまうたり、最悪、命を断ってしまうなど、一生大きな傷をもって生きていかなければなりません。2023年の調査では、約73万2568件のいじめがあったそうです。また、生命や心と体に大きな影響を残した件数が約1,306件もあり、過去最多となったそうです。いじめられた側も勇気を出して周りに助けを求めることも大切だと思いました。いじめる側の気づき、いじめられてる側の告白する勇気、傍観者の行動、そして、いじめは絶対だめという共通意識をもつことで減っていくと思います。

「スマホが与えること」

井上 朔玖

最近、小学生の半数がスマートフォンを所持し、そのことがきっかけで犯罪被害にあってしまう人が増えているというニュースを見ました。私はこのニュースを見て犯罪やトラブルの数が増えているなら小学生の頃からスマホを持たないほうがいいのではないかと考えました。皆さんも知っているとおり、スマートフォンにはメリット・デメリットがあります。インターネットで調べてみるとスマホを小学生から使うことのメリットは、「連絡が取りやすくて安心できる」「コミュニケーションの幅が広がる」「適切な IT リテラシーが、早いうちに身につけられる」などが挙げられていました。反対に、デメリットとして、まず、長い時間スマホを使うことで、寝るのが遅くなり、睡眠不足になってしまったり、液晶画面から出るブルーライトで目が悪くなってしまうなどの健康被害がありました。また、まだ慣れていない段階で色々なサイトを検索しているうちに、悪意のあるサイトや有害なサイトにアクセスしてしまう危険性が高いそうです。このように、小学生からスマホを使うと依存症になりやすくなったり、知らないうちに犯罪に巻き込まれたり、高額な請求が発生したりしかねません。メリットとデメリットを比べると、デメリットの方が大きいので、私は小学生からスマホを持つべきではないと思います。

私がスマートフォンを初めて持ったのは中学 1 年生の時でした。4 年生の頃に両親からのおさがりでスマホを貰いました。スマホでは何でもできて、朝から夜まで好きな動画を見たり、スマホでゲームをしていました。家にいても、出かけていても、どこにいてもスマホに夢中で、スマホ中心の生活を送っていました。最近は時間を決めてスマホを使ったり、部活や課題の調べものでスマホを見る時間が、4 年生の頃と比較するとだいぶ減っていると思います。スマートフォンはとても便利で楽しいものだと思います。先程も説明した通り、わからないことをすぐに調べられたり、自分の好きなことを知ることができるなどのメリットも多くあり、今や生活に欠かせないものです。ですがそれはある程度、成長してからの方がいいと私は思います。世の中のことやスマートフォンのデメリットを知ること、少しは健康被害や犯罪被害が減ると思います。

しかし、私が 1 番大切なことは、周りに流されず、自分の考えを貫き通すことだと思います。今は小学生のときからスマホを持っているのが当たり前の時代になっています。それは、スマートフォンやゲーム機などの電子機器が身近なものになることで、子どもは「友達がみんな持っているから欲しい」「みんなと同じになりたい」と考えるようになります。そして、親は「自分の子どもが話についていけないのはかわいそう」、「一人になってほしくない」と思うので、小学生の頃からスマートフォンを買い与え、それがどんどん広がっていくのです。周りに流されないことは、とても難しく、強い意志が必要です。スマートフォンによる被害

を防ぐためにも、楽しい面ばかりではなく、危険な面もしっかりと伝え、強い意志で〈持つ・持たない〉の判断をする必要があると私は思います。

「『普通』ってなに？」

3年A組 二本柳希衣奈

「普通」という言葉は日常でもよく使う言葉ですね。みなさんは、「普通」とはどういうものなのかと考えたことはありますか？例えば、「普通に美味しい」や「普通はこうする」など、「一般的に」という意味や相手を非難するときの表現に使われます。しかし、その人が「普通」と思っている、みんなが同じように感じているわけではありません。なので、私は「普通」という言葉の意味に興味をもち、どのように使えばいいのか考えてみたいと思い、このテーマを選びました。

私は、日常生活の中でこんな経験がありました。相手が「これ普通にかわいい」と言っても、私はどこがかわいいかわからないときがあります。そんなとき、私は相手を否定せずに「かわいいね」と言っています。思ったことが一緒の人もいれば、違う人もいるからです。もし、そのかわいいものについて、どこがどんなふうにかわいいのか話すことで、共有の輪が広がり、親しみやすくなって、だんだん仲良くなると思うからです。

もし、そこで相手を否定したらどうなるでしょう？相手は、自分の意見をその人から受け入れてはもらえなかったんだと思い、嫌な気持ちになるのではないかと私は思います。自分の思ったことを他人に話しても、また受け入れてもらえないと思ってしまい、言えなくなってしまうのではないかと私は思います。

しかし、いつでも、何でも受け入れる必要もありません。言いたいことが言えず、苦しくなることもあります。他人に合わせなくてもいいと思うときもあります。

改めて、「普通」とはいったいどんなものなのでしょう？調べたところ、「特別変わったところがない」「ありふれている」「平凡的である」という意味でした。また、「人それぞれがもったものさし」ともありました。様々な人間関係がある学校や会社など、自分を取り巻く環境によって変化するもの。生活する環境や貧富の差などによっても、「普通」は異なります。さらに、親の育て方や幼少期の体験なども影響するそうです。ということは、この世には「普通」の正解はないのだと思います。だからこそ、使い方によって相手に誤解を与えてしまうことがあるので気をつける必要があります。

「『普通』に正解はない。」つまり、人それぞれだということです。身の回りの環境や生活や育て方などで、それぞれの普通がうまれます。それも個性のひとつなのでいいことだと私は思います。自分が「普通」だと思っても、それが当たり前だと思わないようにして、自分とみんなの違いを知り、「普通」を押しつけ合わないようにすることが、互いの個性を尊重することにつながるのだと思います。